

## 今 第18回 韓国ハンリム大学ホームステイ事業 年もたくさんの笑顔ありがとう

7月6日から15日までの10日間、今年も韓国ハンリム大学日本学科の学生10名が南部町内の各家庭でホームステイを行いました。期間中、学生たちは茶道や陶芸、鳥取グリコの工場見学など日本文化の体験や視察をしたり、学校訪問やいきいきサロンなどの交流を通じて友好を深めました。学生たちは初めての経験に、笑顔で意欲的に取り組み日本の文化を学び、町民の皆さんと広く交流を行いました。

10日間の日程を終えた学生たちは、慣れない生活での疲れをみせつつも、ホストファミリーや南部町との今後の交流を約束し、別れを惜しみながらも元気に帰国しました。



ホストファミリーの皆さんと記念撮影(米子空港)

## こちら地域振興協議会

大 国

法勝寺地区

### まめなかや畑で世代交流

5月27日、おおくに田園スクエア前のまめなかや畑で、落花生とサツマイモの植え付けを実施し、50名近い参加者でにぎわいました。まめなかや畑は昨年からの実施の事業で親、子、孫の3世代が労働や収穫の喜びを共に体験する事業です。

夏休みには草取りと生育観察、秋には収穫祭を予定しています。春から秋まで長丁場の事業となりますが、南部町の「おせの背中を魅せよう」運動とも連携し、世代間の交流を図りたいと思います。



### ちまき作りで交流会

昨年からの交流をしている米子市法勝寺町から15名の方をお迎えし、ちまき作りをしました。笹で巻いた団子を食べるのは初めてという方もあり、巻き方を教わりながら「難しいけど楽しい」と興味津々な眼差しが印象的でした。作ったちまきとおにぎりや昼食をとったあと、畑に移動しサツマイモの苗を植えました。秋の収穫にはまた多くの方が参加されると期待しています。

